

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和2年度対象)

令和3年8月

九十九里町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、すべての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されています。

本報告書は、令和2年度の教育委員会事務の管理及び執行の状況について、教育に関する学識経験者の意見を活用して、点検及び評価を行い報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

九十九里町教育委員会教育委員名簿

職名	氏名	退任年月日	氏名	就任年月日
教育長	藤代 賢司		藤代 賢司	
教育長職務代理者	並木 千明	令和2年9月30日	川崎 修	令和2年10月1日
委員	川崎 修		並木 千明	
委員	石田 米子		石田 米子	
委員	花澤 礼孝	令和2年9月30日	関 留理子	令和2年10月1日

1. 教育委員会の活動

(1) 教育委員会会議の開催並びに審議について

令和2年度においては、12回の定例会を開催し、以下の議案の審議を行いました。

- ・令和2年度の教育方針について
- ・要保護準要保護児童生徒の認定について
- ・高校進学奨励費受給者の認定について
- ・就学指定変更の認定について
- ・区域外就学の認定について
- ・令和2年度教科用図書山武採択地区協議会規約の承認について
- ・令和2年度教科用図書山武採択地区協議会委員の承認について
- ・令和3年度使用教科用図書採択の承認について
- ・全国学力・学習状況調査について（中止）
- ・教育委員会委員の任命について
- ・教育長職務代理者の任命について
- ・九十九里町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について
- ・九十九里町生涯学習推進協議会設置要綱の改正について
- ・九十九里町野球場の設置及び管理に関する規則の一部改正について
- ・九十九里町学校給食異物混入対応マニュアルについて
- ・九十九里町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について
- ・九十九里町教育委員会事務局職員の職務分類基準に関する規則の一部を改正する規則について
- ・九十九里町教育委員会行政組織規則の制定について
- ・九十九里町学校給食センター管理規則の制定について
- ・九十九里町教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・九十九里町学校給食センター運営規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・九十九里町健康で明るい県民づくり運動推進協議会設置要綱及び九十九里町「明るい県民づくり推進員」連絡協議会設置要綱の廃止について
- ・新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業中及び学校再開への対応について
- ・新型コロナウイルス感染症に係る対応マニュアルについて
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う修学旅行等、泊を伴う学校行事について
- ・不登校未然防止への対応について
- ・学校のあり方検討委員会について

(2) 教育委員会会議以外の活動について

- ①教育長・教育委員は、各学校の主な行事（入学式、運動会等）に出席し、各地域住民の教育ニーズの把握に努めました。また、町の主な行事については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により町民体育祭や町文化祭等が中止となったため、参加することができませんでした。
- ②教育長・教育委員は、各学校を訪問し、学校の教育状況及び施設・設備の状況把握に努めました。また、各学校の訪問時に給食試食会を2回実施し、学校給食の現状把握に努めました。
- ③教育長・教育委員は、郡、県ブロックの各教育委員会連絡協議会主催の研修会に積極的に参加し、教育に関する識見を高めました。

- ・ 5 / 28 関東甲信越静市町村教育委員会研修会（群馬大会） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止
- ・ 10 / 22 千葉県市町村教育委員会連絡協議会研修会（第1回） （市原市） 新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止
- ・ 11 / 2 山武地区教育委員会連絡協議会研修会（山武市）
講師 NPO法人ちば文芸フォーラム 理事長 近藤文子 氏
演題 「言葉の力について ～言葉には心がある そして力がある～」
- ・ 1 / 21 千葉県市町村教育委員会連絡協議会研修会（第2回） （市原市） 動画配信
講師 千葉県教育庁企画管理部教育政策課 課長 中西 健 氏
千葉県教育庁教育振興部学習指導課 課長 佐藤 晴光 氏
演題 (1)「千葉県第3期教育振興基本計画」について
(2)新型コロナウイルスによる学校教育への影響と県教育委員会の取組
- ・ 3 / 1 九十九里町総合教育会議
九十九里町教育大綱の見直し

2. 第四次町総合計画「第5章まちを担う人材育成と豊かな心をつくるまちづくり」の基本方針及び事業について

このような姿を目指します。

●次代を担う健やかな子どもの育成

学校・家庭・地域の連携による特色ある学校づくりが推進されており、児童・生徒が自ら学び、自ら考える力を育てています。

●多様な学習活動のあるまちづくり

誰もが気軽に学習機会を得ることができ、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができる環境が整っています。

また学習活動の成果を社会に生かそうとする気運が高まっています。

●個性ある地域文化の継承と創造

町民一人一人が文化に親しみ、九十九里らしい地域文化に愛着と誇りを感じています。

◎施策評価結果

【次代を担う健やかな子どもの育成】

幼児教育の充実			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
幼稚園就園奨励費の補助	・令和元年10月から幼児教育・保育の無償化事業が実施され、幼稚園就園奨励費補助事業は廃止となった。	・幼稚園就園奨励費補助事業は、社会福祉課所管の幼児教育・保育の無償化事業となった。	廃止
私立幼稚園の振興補助	・私立幼稚園の経営の健全化のため、助成事業を実施した。 事業費：500,000円	・私立幼稚園の教育条件の維持向上、経営の健全化の確保を図るため、引き続き補助事業を実施する。	継続
幼児教育の推進	・町立幼稚園については「幼保連携型こども園」となった。	・こども園所管の社会福祉課と引き続き幼児教育の充実のため、連絡・調整を図る。	継続

教育内容の充実			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
小中学生の基礎学力の向上	・読書の奨励（朝読タイム）や朝の10分間テスト（主に国語や算数の小テスト・ドリル学習）等の実施により、基礎学力の向上に努めた。 ・児童生徒の学習への興味・関心を高め、自ら課題を見つけ解決する分かりやすい授業への改善に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校となった児童・生徒に自宅での学習環境を整えるため、図書の冊数を増加させた。	・継続し読書の奨励や朝の10分間テストを実施するとともに、授業へのICT機器の積極的な活用を行うことにより、分かりやすい授業の実施に努める。併せて学習規律（挨拶、聞く態度、学習中の姿勢、鉛筆の持ち方等）の徹底を図っていく。	継続
体験学習を重視した総合学習の強化	・コロナ感染拡大防止から様々な体験活動ができなかった。しかし、自衛隊を招いての防災体験や食育での乳しぼり体験などを行った。	・地域社会との連携・協力のもと校外学習を継続実施するとともに、必要に応じ校外学習や職場体験学習の活動内容を見直し、より充実した体験学習の機会を提供する。	継続
語学指導外国青年招致事業	・学習意欲の向上を目的に、中学校1名、小学校1名の外国人英語指導助手を配置した。児童生徒が、外国語に触れ、言葉を通して外国の生活や文化などに、興味や関心を持つことができた。 事業費：9,819,462円	・英会話の基礎を習得し、積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、継続して事業を行う。	継続

情報化教育の強化	・文部科学省が掲げるGIGAスクール構想の一環として、小学校及び中学校において校内LANの増強工事及び児童生徒1人1台タブレット端末を整備した。また普通教室及び特別教室へ電子黒板を配備した。※一部令和3年度へ予算を繰越し導入 ・教員を対象に整備したICT機器の使用方法等について研修を実施した。	・各校でより円滑かつ充実な情報教育が行われるよう、GIGAスクール準備委員会を核としてバックアップを行う。	継続
公開授業（防災教育）の実施	・授業参観や防災教育実践委員会等を実施し、保護者や地域及び教育関係者に授業を公開し、開かれた学校づくりに努めた。	・授業参観や防災教育実践委員会等を実施し、保護者や地域及び教育関係者への授業公開に努め、家庭や地域社会と連携した防災教育を推進する。	継続
教職員の研修の充実	・各校の教職員の実態に応じた研修を計画したが感染拡大防止のため、授業力アップ研修、職員相互授業参観等を規模を縮小しての実施にとどまった。	・校外研修への積極的な参加、校内研修の計画的な実施、校内授業研修会への他校教職員の参加等により教職員の資質向上に努めていく。	継続
郷土を愛し、社会で「生きる力」を持つ人材の育成	・防災教育では、導入時に地域の良さを調べ、そこから自然災害について学習した。また、各教科による地域学習を通して、郷土への関心を高めた。	・郷土芸能や郷土料理、町指定文化財などの郷土文化の良さを再認識するため、地域住民との連携のもと、郷土愛の高揚に努めていく。	継続

心の教育の充実			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
「心の九十九里ルール」の実践化	・豊かな心の成長を図るため、7つの目標を掲げ、児童生徒と教職員が協働し、実践化を図っている。更に、学校評価によって達成度を確認し、意識を高めている。	・学校、家庭、地域が連携することで意識の一体化を図る。	継続
心の教育相談員の配置とカウンセリングルームの設置	・心の教育相談員を活用した不登校支援教室の充実やスクールカウンセラーによるカウンセリングは、児童生徒の大きな支えとなっている。また、適応指導教室等関係機関とも連携した支援体制が構築されている。 事業費：420,000円	・関係機関との連携や個別の学習支援等を進める中で、自己肯定感を高めていきたい。併せて、中学校での長期欠席生徒については小学校期の欠席状況が関連しているとの統計がある。その点からも小・中学校の連携の強化を図る。	継続
心の教育の重視	・コロナ感染拡大防止から人権教室は中学校では実質することができたが、小学校では実施できなかった。思春期健康教室等は小学校、中学校ともに実施することができなかった。しかし、「特別の教科道徳」が教科化され、道徳の授業で考え、議論する道徳教育を推進し、子ども達の豊かな心の育成に努めた。	・引き続き人権教室や思春期健康教室等を実施するとともに、道徳の授業時数の確保や道徳と他教科との連携等により心の教育の充実を図る。	継続

特別支援教育の充実			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
就学指導と特別支援教育の充実	<p>・教育支援委員会や引き継ぎ会を通して、こども園・小学校・中学校の連携を図り就学支援を行った。また、支援員等を配置し、支援体制の整備を行うとともに、特別支援学級に就学する児童若しくは生徒の保護者に対し必要な援助を行うことにより、それらの保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費補助金を交付した。</p> <p>【支援員】 豊海小学校 2名 片貝小学校 2名 九十九里小学校 2名</p> <p>【特別支援教育就学奨励費補助額】 九十九里中学校 144,065円 豊海小学校 82,246円 片貝小学校 96,465円 九十九里小学校 40,280円</p>	<p>・特別な教育的支援が必要な児童生徒の支援体制を整備する中で、保護者・学校と協議し、児童生徒の実態に合わせた支援が適正に行われるよう、支援員等の配置を進める。</p> <p>・引き続き補助を行い、保護者の経済的負担軽減を図る。</p>	継続

開かれた学校づくりの推進			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
アンケート等による学校関係者、児童生徒、保護者、地域住民等の意見の教育現場への反映	<p>・児童生徒、保護者アンケートの実施や学校関係者評価委員会を開催し、保護者や地域住民の学校運営への参画の促進に努めた。</p>	<p>・引き続き児童生徒、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、学校運営や日常の教育実践等への反映に努める。</p>	継続
地域住民や地元の自然を取り入れた授業の実施	<p>・コロナ感染拡大防止のため、地域住民との関わりをもつことができなかった。しかし、各教科で九十九里町の生き物や植物についての学習を進めている。</p>	<p>・引き続き地域住民や地元の自然を取り入れた取組を模索し、積極的に授業に組み込んでいく。</p>	継続
教育活動の公開並びにミニ集会の実施	<p>・コロナ感染拡大防止対策のため、授業参観など、学校を開放することに制限があった中で書面等により、学校評価を行い、それをもとに教育活動の改善に努めた。</p>	<p>・学校、家庭、地域が課題を共有し、課題解決の手立てを示すことで、より質の高い教育を目指し、学校評価の更なる充実を図る。</p>	継続

教育環境の整備			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
学校施設の適正な維持	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗場自動水栓化工事、豊海小空調設備設置工事など新型コロナウイルス感染症対策として工事を実施し、衛生環境の向上に努めた。 ・老朽等により不具合が生じている施設の整備を行い、教育環境の向上に努めた。 <p>九十九里中学校 事業費：3,533,200円 【手洗い場自動水栓化 体育館前通用門修繕 他】 豊海小学校 事業費：11,170,170円 【手洗い場自動水栓化 多目的室空調設置工事 他】 片貝小学校 事業費：21,400,335円 【手洗い場自動水栓化 校舎天窓フィルム設置工事 他】 九十九里小学校 事業費：2,346,584円 【手洗い場自動水栓化 2階通路落下防止柵設置 他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な施設の安全点検と補修修繕等を行い教育環境の整備に努める。 ・災害時避難所の役割を担う学校施設の整備を進める。 	継続
給食調理及び配送の委託	<ul style="list-style-type: none"> ・給食業務（調理・配送）委託事業は平成19年度から実施している。また、平成21年度二学期から米飯自炊を開始し、炊飯料の節約と多様な献立の提供に努めている。 ・委託業者、栄養士（栄養教諭）、町職員との連携により安全・安心な給食の提供に努めた。 ・配食日数 年間 176日（4・5月実施なし） ・配食数 日平均 896食 ・事業費 43,917,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の食材を活用した行事食・千産千消・郷土料理などを取り入れた献立を作成し、さらに児童・生徒にとって給食の時間が楽しみになるよう魅力ある給食を提供する。 ・給食の安全を確保するため、食材の品質や衛生管理体制の徹底を図る。 	継続
学校給食における食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康増進と体力の向上を図るために、家庭で不足しがちな栄養素をメニューに取り入れるとともに、塩分の摂取量に配慮した給食を提供した。 ・栄養教諭による授業や給食時の訪問を通じ、健全な食生活を実践するための食育活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に対し、栄養効果や健康管理について給食を通じた食育を推進する。 ・試食会や家庭教育学級、給食だより、ホームページ等を活用して、保護者や地域の方々にも食に関する情報を提供する。 	継続
学校給食センター調理機器等の整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・給食提供に影響する緊急性の高い施設や調理機器等の修繕を実施した。 ・衛生管理上不適合、不具合な設備・調理機器等の修繕を実施した。 ・修繕 25件 5,298,318円 【食器洗浄機、消毒保管庫、築造式冷凍冷蔵庫 他】 ・改修工事 1件 141,900円 【トイレ改修：手洗い自動水栓交換工事】 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター施設および調理機器等の日常点検や保守点検により判明した不具合や耐用年数を超える調理機器等の修繕を計画的に行い、児童・生徒に安全安心な給食を提供する。 	継続

【多様な学習活動のあるまちづくり】

生涯学習の推進			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
生涯学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年恒例になっている町民文化祭における作品展示発表、芸能発表及び短歌大会のため、準備を進め予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となりました。 【各種大会】短歌大会 ー ー ー 人 町民文化祭延 ー ー ー 人 【公民館主催】 2講座 【自主サークル同好会】 33団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代に即した公民館講座の開設運営及び県内の文化活動情報の提供を行う。 ・高齢化社会の進行に対処し、同好会・サークル会員の増員を推進し、会の活発化を図る。 	継続
生涯学習推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進大会で講演会と実践発表会を実施している。有名講師を招聘し、楽しく元気に生活することの大切さについて講話をしていただき、多くの町民の皆様にご喜ばれているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 生涯学習推進大会（中止） 生涯学習推進協議会会議(1回) 生涯学習推進大会、生涯学習に関する取組を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯学習推進大会を開催し、学習の成果を発表する場を提供する。 ・会場内の感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成・運用のうえ、参加者及び観覧者等の身体の安全管理に十分に配慮したうえで、事業を推進する。 	継続
余暇の活用機会の提供 (公民館の開放)	<ul style="list-style-type: none"> ・33の同好会の生涯に渡る学びの場として、公民館を開放し余暇の活用機会の提供を行った。 【開館日数】 241日 【公民館年間利用者数】 8,404人 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催講座修了受講生を新規開設のサークル会員の対象とし、同好会開設を促す。 ・公民館主催講座修了受講生以外の受講希望者については、現在活動中の「同好会」等への入会を勧める。 ・館内各部屋の年間利用申請の調整を行い有効活用を図る。 	継続
余暇の活用機会の提供 (図書の充実)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者から希望の多い、一般書、児童書を購入整備し、読者ニーズに応え、余暇の活用機会の提供を行った。 【図書室利用状況】 開設日数 241日 入室者数 1,966人 貸出者数 1,404人 貸出冊数 4,401冊 蔵書冊数 21,159冊 1日平均18冊の貸出 蔵書増数 514冊 (内、コロナ対策 222冊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も読者ニーズ把握のアンケートを行い、利便性の高い図書室とする。 ・住民からのリクエストに応え、住民の読書機会の増加を図る。 ・夏休み読書感想文のための課題図書を購入し、小・中・高校生のニーズに応える。 ・県立図書館と連携を図る。 	継続

家庭・地域の教育力の向上			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
家庭教育学級の開催	<p>・全体会として年に1回、講師を迎え、子育てについての講義を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。</p> <p>・感染症対策を取り、可能な限りではあるが、子どもと保護者が共に学ぶ機会を提供することができた。</p> <p>各施設における開催状況 九十九里中学校（中止） 豊海小学校（1回） 片貝小学校（中止） 九十九里小学校（中止） とようみこども園（2回） かたかいこども園（4回）</p> <p>参加者 延べ保護者 519人 園児・児童・生徒 366人</p> <p>内容 親子運動、交通安全教室 地震体験、安全マップ作り、他</p>	<p>・家庭教育学級とは、家庭が本来果たすべき役割を見つめなおす機会になるよう、保護者自身が親の役割、子どもの心の理解など、家庭教育について考えあい、深めていく学習の場であり、今後も実施する。</p> <p>・各施設においての新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、園児・児童・生徒が安心して参加できるような事業の企画を推進する。</p>	継続
家庭教育支援の実施体制の強化	<p>・家庭教育に取り組む中で大切となる地域の健全育成活動の団体である、子ども会育成連絡協議会・PTA連絡協議会・青少年相談員連絡協議会との連携強化を図る為、活動補助金の交付を行い、団体の行事、研修、講習会の運営協力を行った。</p>	<p>・引き続き学校、家庭、地域が連携して家庭教育を支え、青少年の健全育成を図る環境づくりを推進する。</p>	継続
心の九十九里ルールの実践	<p>・7つの目標に向け、児童生徒と教職員の他各関係者が協働し、実践化を図っている。</p>	<p>・学校、家庭、地域が連携することで意識の一体化を図る。</p>	継続

スポーツ・レクリエーション活動の充実			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
学校体育施設の開放	<p>・学校体育施設を開放することにより、運動に親しむことのできる環境づくりを進めている。しかし、緊急事態宣言等の発出により施設を長期間閉鎖したため、例年に比べ施設利用実績は非常に少なくなった。</p> <p>利用登録団体数 上半期（4～9月） 40団体 下半期（10～3月） 41団体</p>	<p>・各競技の技術向上や住民の健康保持のため、利用促進を図る。</p>	継続

野球場の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・軟式野球専用グラウンドとして、各種大会や練習に利用されている。週末の利用が多い状態である。 年間118件利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康保持のため、利用促進を図る。 	継続
団体及び指導者の育成・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を迎えてスポーツ教室を行うことにより、多数の参加者が集まり、様々なスポーツの体験をする機会となっているが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 卓球教室の開催を計画（中止） 各専門部・協会の助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、スポーツ教室を開催し、競技人口の増加と指導者・ボランティアの育成を図る。 ・各専門部、協会への活動助成と山武郡市民体育大会出場助成を実施する。 ・スポーツ大会出場補助金の周知をすることで各種競技の活性化を図る。 	継続
社会体育活動事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションやスポーツ大会を行うことにより、児童から大人まで広く町民の皆様に運動に親しむ機会を設けている。新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての大会が中止となった。 山武郡市民体育大会（中止） 町民体育祭（中止） 町スポーツレクリエーション祭（中止） 山武郡市駅伝競走大会（中止） 【その他各種成人大会】 野球大会（中止）ソフトボール大会（中止） ゴルフ大会（中止）バレーボール大会（中止） バスケットボール大会（中止） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康保持のため、スポーツ・レクリエーション活動の振興や普及に努めるとともに、実践の場として大会等の充実を図る。 ・各種成人大会を各専門部・協会が自主運営できるようにサポートを行う。 ・各種大会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成・運用のうえ、参加者等の身体の安全管理に十分に配慮したうえで、事業を推進する。 	継続
スポーツ協会加盟団体への活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動の中心であるスポーツ協会へ補助金の交付を行い、各種スポーツ団体の大会、研修、講習会を開催支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体の育成・強化に努め、各種大会の自主運営、指導者の養成、資質向上を図る。 	継続

青少年の健全育成			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
子ども会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会役員を中心に、多くの行事が企画運営されている。中学生以上のジュニアリーダーとの連携を図り、地域の子どもたちの縦と横のつながりを深めている。 子どもかるた大会（中止） ミニバスケットボール大会（中止） ポッチャ大会（中止） 見学ツアー（中止） ジュニアリーダーの育成、青少年相談員活動等の協力 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年が社会生活を営むうえで、大切なものを身につけられるように、関係団体間の連携と活動の充実を図る。 子ども会育成連絡協議会役員や青少年相談員に対する講習会や研修会の積極的な参加を促し、指導者としての向上を図る。 各種事業の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成・運用のうえ、参加者が安心して参加できる環境を整えたいうえで事業を推進する。 	継続
青少年活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全な育成のために見回り活動や体験活動をしている。青少年を地域で見守る活動の中心となっている。 夜間パトロール（7名） 有害図書調査（7名） カープミラー清掃（7名：町内142カ所を清掃） 年2回計画 1回目：豊海地区 2回目：中止 		継続
夜間パトロールの実施	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の見回り活動を行い、青少年を見守り非行防止に努めている。 夏休み期間中に 1回実施（町内） 青少年相談員連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施 夏休み期間中に2回実施予定 	継続
ジュニアリーダースクラブ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域の児童生徒のリーダー育成のため、各種行事の企画運営や研修会への参加を行っている。子ども会行事等に積極的に協力を行っている。 中学生 17人、高校生 10人 定例会・研修会の実施、他団体の事業に対する応援 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、継続的に活動するためリーダーの育成・人材の発掘を図る。 	継続
有害図書対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 夜間パトロール時に町内レンタルビデオ店で有害図書調査を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して夜間パトロールと併せて実施する。 	継続
通学合宿の実施	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、体験活動を通して自主性や社会性等を身につけるために開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 対象 町内小学校4～6年生 3小合同 (1回目) 中止 (2回目) 中止 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの社会性・自主性・協調性を養うことと地域で子どもを育てる意識の高揚を図るという目的のため、引き続き実施する。 	継続

【個性ある地域文化の継承と創造】

地域文化活動の支援

事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
チラシ、ポスター、文化団体連絡協議会会報等による活動の周知 指導者や後継者の育成と自主事業の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・会員手作りの文化団体連絡協議会会報を3月に発行し、活動内容の周知及び会員募集を行った。 ・公民館を中核的な施設として位置づけ、33の同好会やダイヤモンドクラブ等の活動の場を提供した。 <p>【同好会等会員数】403名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化を普及振興し、活気に満ちたふるさとづくりに努める。 ・同好会等の館内利用者の固定化傾向を改善し会の存続・活発化を図るため、新規会員の加入を推進する。 	継続
町民文化祭の開催 各同好会による作品の展示と芸能の発表の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示発表、芸能発表を行うため、準備を進め予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸能と作品発表の場をつくり、町民の生涯学習に寄与する。 	継続

九十九里文化の継承

事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
小学生を対象としたいわし漁に係る歴史教育の推進（いわしの交流センター展示室の管理）	<ul style="list-style-type: none"> ・いわし漁と共に栄えた当時の町の歴史資料で、大漁の証「万祝」、船の木造模型及び船大工道具等を展示し、後世まで伝えるとともに、昔から「庶民の魚」とされてきた美味しい「いわし料理」を紹介し、小学生の郷土学習の場を創造、町民のふるさと文化継承の場として「いわしの交流センター展示室」の管理運営を行った。 <p>事業費：4,815,991円 来館者数：4,441人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・九十九里文化の継承に努める。 ・地元、小学生を対象に学習の場を提供する。 ・業務の効率化を図るため今後、展示室の清掃及び生体鰯の管理について、指定管理者と協議を行い、業務の委託を推進する。 	継続
郷土芸能和楽器の音楽教育への取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能連絡協議会に協力を得て、各学校における和楽器の啓発を予定してたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞や鞆鼓舞の文化を学ぶために、小学校における郷土芸能和楽器の音楽教育への導入に努める。 	継続

文化財の保護			
事業名	経過・結果	今後の取り組み方針	
有形文化財の保護活動の推進	・町に伝わる文化財を保存する為に環境の整備を行っている。	・文化財の発掘及び保存、活用に努める。	継続
郷土芸能まつりの開催	<p>・例年では郷土芸能連絡協議会を中心に、町各種行事に参加し、各地区での活動も活発に行われているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりほぼ全ての行事が中止となり、郷土芸能まつりについても延期となった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郷土芸能まつり（延期） ○各種行事等での発表（中止） ○郷土芸能の保存伝承のため加盟団体へ補助金を交付 	<p>・3年に一度、郷土芸能まつりを開催する。</p> <p>・会場内での感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成・運用のうえ、参加者及び観覧者等の身体の安全管理に十分配慮したうえで、事業を推進する。</p>	継続
獅子舞や鞆鼓舞等の電子情報化	<p>・過去に開催された郷土芸能まつりの際に撮影した映像を電子情報化し、随時貸出しを行っている。</p> <p>○DVD化（VHSテープ 69本分）</p>	・郷土芸能まつりを開催した際に、獅子舞や鞆鼓舞を撮影し、電子情報化する。	継続
古文書等の保管と展示の推進	・いわし博物館の爆発事故以来、県立博物館等に寄託している古文書等については、各博物館での企画展等において展示を行い活用を図っている。	<p>・今後、展示保管施設の整備に向け関係機関と協議を進める。</p> <p>・古文書（文化財）等の展示スペースがないことから、今後、文化資源のデジタル化の提供を検討する。</p>	継続

評価委員所見

【次代を担う健やかな子どもの育成】

- 「こども園」の担当課である社会福祉課と連携して、幼児教育の充実が図られている。
今後も、私立幼稚園との連携をも図り、更なる充実・発展を期待したい。
- 英語の授業も小学校から実施され、従来の英語教育から聞く・話すに重点が移っていることから、語学指導外国青年招致事業の重要性が増して来ている。
今後とも力を入れて推進されることを期待する。
- 情報化教育推進のため、校内LAN工事を始め、ハード面、ソフト面の充実が図られてきた。
小中学校において、児童生徒1人1台タブレット端末や各教室への電子黒板の整備など、ICT機器の導入が進んでいることは高く評価する。
これらICT機器の効果的活用を期待するとともに操作教員への研修も併せて期待するものである。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、全小中学校に手洗い場自動水洗化事業が実施された点は評価したい。
また、通常の老朽化等による施設の整備も対応されている点も評価するものである。

【多様な学習活動のあるまちづくり】

- 町民文化祭・生涯学習推進大会を始め多くの大会が新型コロナウイルス感染症の中で中止となったが、感染防止のため、適切な判断であったと判断する。
ただ、令和元年度の台風による中止に続き、事業に参加・発表を予定していた出演者には、今後とも研鑽を積まれ新型コロナウイルス感染症が治まった時には十分練習の成果を発表出来るよう期待するものである。

【個性ある地域文化の継承と創造】

- 3年に一度の郷土芸能まつりも新型コロナウイルス感染症で次年度へ延期となったが、保存伝承に務められるよう期待するものである。
- 郷土芸能まつりの映像を電子情報化（DVD化）したことは大いに評価したい。
また、貸出しについても一般町民も含め、小中学校の郷土芸能和楽器の音楽教育への取り組みの中でDVDの活用も検討を期待する。
- 県立博物館や中学校の空き教室に保管されている古文書等の保管・収蔵について、これらの保管収蔵施設の整備に向け協議が進められると思うが、文化資源のデジタル化を検討するとの事であるが、ぜひ、積極的に進めていただくよう期待する。